

長野工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	ディジタル信号処理	
科目基礎情報							
科目番号	0045			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子情報工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：酒井幸市, “高専学生のための ディジタル信号処理”, コロナ社						
担当教員	藤田 悠						
到達目標							
基礎的なフーリエ変換の原理や特徴と捉え, 工学分野で扱う波形の取り扱い方について, アナログ信号を踏まえてディジタル信号の処理を理解することができることにより(C-1)の達成とする.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
離散データの処理	離散的に与えられたデータを処理することができる.			離散的に与えられたデータの処理を説明することができる.		離散的に与えられたデータの処理を説明できない.	
フーリエ級数	フーリエ級数を活用できる			フーリエ級数を説明できる		フーリエ級数を説明できない	
離散フーリエ変換	離散フーリエ変換を活用できる			離散フーリエ変換を説明できる		離散フーリエ変換を説明できない	
Z変換	Z変換を活用できる			Z変換を説明できる		Z変換を説明できない	
学科の到達目標項目との関係							
(C-1) 産業システム工学プログラム							
教育方法等							
概要	信号処理や画像処理の基礎となるディジタル信号処理に必要な, フーリエスペクトル, フィルタを取り上げる. アナログ信号とディジタル信号, フーリエ級数, 離散フーリエ変換, FFT, ラプラス変換とZ変換を学ぶ.						
授業の進め方・方法	・ 授業方法は講義を中心とし, 演習問題や課題を課す. ・ ノートPCを授業内で用いる.						
注意点	<成績評価> 理解度の確認 (30%), 前期末達成度試験 (30%) および, 課題レポート (40%) により評価する. 6割以上を達成した者をこの科目の合格者とする. <オフィスアワー> 放課後 16:00 ~ 17:00, 電子情報工学科棟2F 情報処理準備室. <先修科目・後修科目> 先修科目はフーリエ解析 <備考> なお、本科目は学修単位科目であり, 授業時間30時間に加えて, 自学自習時間60時間が必要です.						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	ディジタル信号の概要			量子化, 標本化, エイリアシングを理解できる.	
		2週	信号処理の簡単な例			移動平均法を理解してアナログ信号を復元できる.	
		3週	信号の復元			マルチパスによるひずみから信号を復元することができる.	
		4週	ベクトル空間			ベクトル空間の特徴を理解することができる.	
		5週	実フーリエ級数			実フーリエ級数展開を理解することができる.	
		6週	複素フーリエ級数			複素フーリエ級数展開を理解することができる.	
		7週	フーリエ級数の性質			フーリエ級数の特徴を理解することができる.	
	2ndQ	8週	理解度の確認				
		9週	離散フーリエ変換			離散フーリエ変換を導くことができ, 特徴をつかむことができる.	
		10週	高速フーリエ変換			高速フーリエ変換を理解することができる.	
		11週	高速フーリエ変換の計算			高速フーリエ変換の計算ができる	
		12週	フーリエ変換			フーリエ変換とその性質を理解することができる.	
		13週	線形システムへの応用			フーリエ変換における線形システムへの応用ができる.	
		14週	ラプラス変換			複素周波数に拡張したラプラス変換を理解することができる.	
		15週	Z変換			離散時間信号とラプラス変換におけるZ変換を理解することができる.	
16週	前期末達成度試験						
評価割合							
	試験	小テスト	平常点	レポート	その他	合計	
総合評価割合	60	0	0	40	0	100	
配点	60	0	0	40	0	100	